






| | |
|---------|------|
| 竹原市収受 | |
| 竹 | 第 号 |
| 27.6.-1 | |
| 処理期限 | 月 日 |
| 分類記号 | 保存年数 |

資料様式第3号

| | | | | | | |
|--|-----|--|------|--|--|--|
| 議長 | 副議長 | 局長 | 局長補佐 | 次長 | 係長 | 局員 |
|  | |  | |  |  |  |

平成27年6月1日

会派(視察・調査・研修)結果報告書

会派名
代表者氏名 今田佳男



| | |
|--------------------------|--|
| 視察・調査場 | 全国市町村国際文化研修所 |
| 期 日 | 平成27年5月27日 ~ 平成27年5月29日 |
| 経 費 | 35,060円 |
| 参加者氏名 | 今田佳男 |
| 視察・調査目的 | 平成27年度自治体の財源確保策 |
| 内 容 (視察先の現状、竹原市との比較等) | <p>5月27日 講義 事例紹介理解のための基礎知識</p> <p>5月28日 事例紹介 施設使用料等の適正化 長浜市 公有不動産の有効活用 南魚沼市 ファシリティマネジメントに基づく保有資産の適正化 秦野市 浜松市 自治体債権の一元管理 船橋市 広告料収入ネーミングライツ 横浜市</p> <p>5月29日 演習 情報交換会</p> |
| 効果・成果等 | <p>新しい視点からの自治体の財源確保策の事例を紹介する研修であった。 職員向けの研修であったが、参加者36名中9名が議員であり、議員のこの問題に対する意識の必要性を強く感じた。 6自治体の事例紹介があり、非常に熱心にお話していただいたが、一時間の持ち時間では説明不足であり、どの講師も、今後、メールでの連絡、視察には喜んで対応する、言っておられた。 取り組める対応を担当課と相談し、竹原市の財源確保策を検討していきたい。</p> |

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

| | |
|----------|------|
| 竹原市収受 | |
| 竹 | 第 号 |
| 27.11.24 | |
| 処理期限 | 月 日 |
| 分類記号 | 保存年数 |

資料様式第3号

| | | | | | | |
|----|-----|----|----|----|----|----|
| 議長 | 副議長 | 財政 | 局長 | 次長 | 係長 | 局員 |
| 北 | | 吉 | | 佳 | 信 | 東 |

平成27年11月24日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 今田 佳男



| | |
|--------------------------|---|
| 視察・調査場 所 | 全国市町村国際文化研修所 |
| 期 日 | 平成27年11月12日 ~ 平成27年11月13日 |
| 経 費 | 29860円 |
| 参加者氏名 | 今田佳男 |
| 視察・調査的 目 的 | 研修 |
| 内 容 (視察先の現状、竹原市との比較等) | 平成27年度トップマネジメントセミナー (人口減少社会に対応した行政運営) |
| 効果・成果等 | 人口減少に対応する行政運営についての講義であり、人口減少の著しい竹原市には参考となる内容であった。 島根県邑南町の石橋町長の講義では、日本一の子育て村を目指して実行された施策の講義であり、参考とすべきことが多かった。身近で安心な医療体制、子育て支援事業は竹原市においても取り組むべき課題であり、人口減少対策として今後の議員活動を通じて実現させたい。 |

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

| |
|-----------|
| 竹原市収受 |
| 竹 第 号 |
| 27.12.22 |
| 処理期限 月 日 |
| 分類記号 保存年限 |



資料様式第3号

平成27年12月21日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 今田 佳男



| | |
|---------------------------|---|
| 視察・調査場 所 | 広島市子ども未来局 子ども・家庭支援課 (広島市役所議会棟) |
| 期 日 | 平成27年12月18日 ~ 平成27年12月18日 |
| 経 費 | 2790 円 |
| 参加者氏名 | 今田佳男 |
| 視察・調査的 目 | 広島市における「妊娠・出産包括支援事業」について |
| 内 容 (視察先の現状, 竹原市との比較等) | <p>「妊娠・出産包括支援事業」について以前に質問事項を送付</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 現在の「こんにちは赤ちゃん事業」の課題 2) 昨年1月に実施されたアンケートの内容 3) 利用の条件、利用料、利用数の上限 4) 保健師が面接して支援の必要性を判断する際の基準 5) 各メニューの利用見込み 6) 事業費1200万円の予算見積り内容 7) 保健師、助産師の活用状況 <p>竹原市においても来年度「子育て世代包括支援センター」を設置する計画があり、広島市の事業を参考としたい。</p> |
| 効果・成果等 | <p>広島市の事業も、竹原市が計画している事業も、国が進める「妊娠・出産包括支援事業」の制度を活用しており今回の研修をきっかけとして、連携ができるのではないかと期待している。</p> <p>担当課長より、質問事項に対して、配布された資料を使って丁寧な説明があった。同席された主任技師は保健師であり、竹原市内にも知人がいるとのことで、今後も協力していただけたらと思う。</p> |

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

| | |
|---------|------|
| 竹原市収受 | |
| 竹議会第 | 号 |
| 28.1.18 | |
| 処理期限 | 月 日 |
| 分類記号 | 保存年限 |

| | | | | | | |
|--|-----|--|------|--|--|---|
| 議長 | 副議長 | 局長 | 局長補佐 | 次長 | 係長 | 局員 |
|  | |  | |  |  |  |

資料様式第3号

平成28年1月18日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 今田佳男



| | |
|--------------------------|---|
| 視察・調査場 | 大阪府立労働センター |
| 期 日 | 平成28年1月16日 ~ 平成28年1月16日 |
| 経 費 | 19,840円 |
| 参加者氏名 | 今田佳男 |
| 視察・調査目的 | 3大事務局研究会合同シンポジウム |
| 内 容 (視察先の現状、竹原市との比較等) | <p>3の議会事務局研究会の合同シンポジウム</p> <p>1) 各事務局研究会の基調報告</p> <p>2) パネルディスカッション</p> <p>論点1 議員と事務局の協働の在り方、 協働と言えるかどうか? 事務局は議員とどう関わるか?</p> <p>論点2 議会の信頼をどう確保するか? 特に、議会の見える化や政務活動費に係る事務局の役割等に関して</p> |
| 効果・成果等 | <p>議会基本条例が制定されるようになって10年が経過し、第二段階に入った議会改革の進展と議会の信頼をどう確保するか?とすることで、「議員と事務局の協働と在り方」がテーマであった。</p> <p>議会事務局研究会の主催するシンポジウムであったが、全国から多くの議員も参加していた。基調報告では三人の事務局職員が議員との関係で、今まで経験した事例を率直に話してくれ興味深かった。</p> <p>議会改革には、議会と事務局が両輪でなければならないことを強く感じさせられた。今後も今回の研修に関わった方々と連絡をとりながら、議員活動の参考としたい。</p> |

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。


| |
|-----------|
| 竹原市収受 |
| 竹第号 |
| 28.1.27 |
| 処理期限 月 日 |
| 分類記号 保存年限 |

| | | | | | | |
|--|-----|---|-----|---|---|--|
| 議長 | 副議長 | 局長 | 副局長 | 次長 | 係長 | 局員 |
|  | |  | |  |  |  |

資料様式第3号

平成28年1月27日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 今田 佳男 

| | |
|--------------------------|---|
| 視察・調査場 | 博多 リファレンス駅東ビル |
| 期 日 | 平成28年1月25日 ~ 平成28年1月25日 |
| 経 費 | 35560円 |
| 参加者氏名 | 今田 佳男 |
| 視察・調査目的 | 一般社団法人行政改革推進協会主催のセミナー |
| 内 容 (視察先の現状、竹原市との比較等) | 議会基本条例ができるまで 議会の権能をもう一度考える 議会基本条例にはどのような効果があるか 先進地での議論と、当該自治体の課題 議会基本条例は何のためにつくるか 議員定数、議員報酬についての考察 政務活動費について |
| 効果・成果等 | 枚方市の議会基本条例制定に、議員として関わられた高橋伸介さんのセミナーであった。講師が考えられた「議会要務令」など議員としての経験、議会基本条例制定時の苦労話をわかりやすく説明された。 議員定数、議員報酬、政務活動費については、議会不信、ポピュリズムに対抗するために、情報発信とともに、理論の勉強も必要であることが理解できた。 先日、大阪で参加した議会事務局研究会のシンポジウムに講師も参加されていたようで、セミナー後、今後もメール等で指導いただけるようお願いした。 |

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

| | |
|---------|------|
| 竹原市収受 | |
| 竹 | 第 号 |
| 28.2.12 | |
| 処理期限 | 月 日 |
| 分類記号 | 保存年限 |

資料様式第3号

| | | | | | | |
|---|-----|---|-----|--|---|---|
| 議長 | 副議長 | 局長 | 副局長 | 次長 | 係長 | 局員 |
|  | |  | |  |  |  |

平成28年2月2日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 今田 佳男



| | |
|--------------------------|--|
| 視察・調査場 | 学校法人龍谷大学 |
| 期 日 | 平成28年2月6日 ~ 平成28年2月7日 |
| 経 費 | 52660円 |
| 参加者氏名 | 今田佳男 |
| 視察・調査目的 | 議員力研究会 第7回質問力研修 「質問力を高める、議会力に活かす」 |
| 内 容 (視察先の現状、竹原市との比較等) | 一般質問の機能、現状と課題を確認して、いい一般質問をするために、参加者が過去に行った、不十分なし未消化であったと感じる一般質問を持ち寄り、グループで分析、議論して、改善点を検討する研修。 昨年4回一般質問をしたが、反省することも多く、他自治体議員や専門家から助言を受け、一般質問の内容の向上を目的として参加した。 |
| 効果・成果等 | 過去に不十分と感じる事例として、産科医療についての一般質問を提出した。議員サポーター、行政職員のアドバイザーが的確に問題点を指摘して、多面的な議論、検討ができた。 講義では、現場で聴くこと、ネット等を使った情報収集の重要性を再認識した。 参加者の意識、レベルは非常に高く、今後も情報交換を続けて議員活動に活かしたい。 |

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

| |
|-----------|
| 竹原市収受 |
| 竹第号 |
| 28.3.25 |
| 処理期限 月 日 |
| 分類記号 保存年限 |

| | | | | | | |
|----|-----|----|-----|----|----|----|
| 議長 | 副議長 | 局長 | 副局長 | 次長 | 係長 | 局員 |
| | | | | | | |

資料様式第3号

平成28年3月25日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 今田 佳男



| | |
|--------------------------|--|
| 視察・調査場 | 大崎上島町役場総務課 |
| 期 日 | 平成28年3月24日 ~ 平成28年3月24日 |
| 経 費 | 670円 |
| 参加者氏名 | 今田 佳男 |
| 視察・調査目的 | 公営塾「神峰学舎」の設立の経緯等の説明を受ける |
| 内 容 (視察先の現状、竹原市との比較等) | <p>竹原市内の子ども達が市内の高校に進学するような状況になることが重要であると考えて議員活動をしてきた。大崎上島町では、教育の島を目指して、町内の大崎海星高校に町営塾を開設しているとのことを聞いたので、大崎上島町総務課を訪問し、開設の経緯、成果等の説明を受けた。</p> <p>広島県教育委員会の県立高校の統廃合の方針からすると、大崎海星高校が統廃合の対象になるとの強い危機感と、教育を重視する町長の方針とが開設の背景であることが理解できた。離島振興の関係からつながりのある隠岐の海士町の事例を参考とし、海士町の高校の活性化にかかわった方々に、講師の選定、運営の支援をしてもらっているとのことであった。</p> <p>開設にあたっては、町内の中学生、保護者、教職員にアンケートを実施して、ニーズを確認し、町内からの進学者が従来からの4割から今年度は6割となり、一定の成果があったと思うとのことであった。</p> |
| 効果・成果等 | <p>町外からの生徒の受入を進めるため、現在は東京、大阪で合同の説明会に参加しているが、現在受入している修学旅行生も今後の受入の対象と考えているとのことであった。</p> <p>広島県が検討しているグローバルリーダー校の誘致にも取り組んでおられ、教育を大切にされる町の姿勢が良くわかった。今後実際の塾を見学させていただく機会を設けていただくことになった。</p> <p>尾道市は瀬戸田高校を、世羅町は世羅高校を支援する事業を始めるとのことであり、竹原市に必要なことを今後も研究していきたい。</p> |

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 今田 佳男



| | |
|--------------------------|--|
| 視察・調査場 | 法政大学 |
| 期 日 | 平成28年3月27日 ~ 平成28年3月28日 |
| 経 費 | 49800円 |
| 参加者氏名 | 今田佳男 |
| 視察・調査的目 | 市民と議員の条例づくり交流会議 「議会を変える議員間討議」 衆議院議員会館 寺田稔議員 訪問 |
| 内 容 (視察先の現状、竹原市との比較等) | <p>基調提起等の後、参加者が委員、傍聴者となって、模擬委員会がワークショップ形式で行われた。模擬の議案について委員会質疑、討論、採決が行われ、その間に委員と傍聴者の意見交換の時間を設定あった。傍聴役から議案に対する委員役の質問に対して厳しい指摘があったり、真剣な討議があった。(委員長役の参加者の感想を別添え添付)</p> <p>竹原市でも常任委員会で自由討議の時間が設けられているが、議案に対する賛否のみでなく、議員間で討議をすることが重要であることを強く感じた。</p> |
| 効果・成果等 | <p>今回はくじ引きで傍聴者役となった。全国各地からの参加者はそれぞれ自治体が抱える問題点を意識して発言されていた。委員役となった若い議員が議案に対して附帯決議を提案するなど、今後の参考となることが多かった。</p> |

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。